

改革・改善サイクルに係る対応方針

社会教育部

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
社会教育課	イベント関係（所）	社会教育主催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習市民センター学習支援事業との統合の可能性を検討すべきでは。 ・両事業の相違に係る説明が不十分のように思われるが説明が可能か？ 	改善	<p>生涯学習市民センターを含む生涯学習課所管の事業は、センターで活動されている団体を中心となり、市と協働で実施する活動委員会事業や人形劇フェスティバル、センターまつりといった市民の自由な生涯学習活動を支援する事業が中心である。</p> <p>一方社会教育事業は、スマホの危険性を紹介する事業や子育てについて語り合う親学習講座など、「人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術」を対象としており、変化の激しい現代社会において生活していく上で、身につけておくべき知識や技術の提供を通じて、市民の気づきを促すことを目指しており、生涯学習課所管事業と性格が異なり、教育的要素が強いため、本市における生涯学習推進体制への移行後も、教育委員会が所管してきた経緯がある。</p> <p>社会教育主催事業と生涯学習市民センター学習支援事業は、「類似性」に着目して、統合の可能性を検討するのではなく、今日的状況の中で、必要とされる公的教育としての特色ある社会教育事業の充実を図っていく。</p>	社会教育課の事業目標を十分に踏まえた事業を展開するとともに、他課が展開する教育的事業との連携・共催を強化する。	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
文化財課	啓発事業	古文書講座開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会だけで終わらず、読下文の印刷は、各資料館や大学などで利用すべき。 ・事業の統廃合の可能性があり得るのでは？ 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの史料群を体系的な順序に基づいて教材化しているのではなく、講師が講座のレベルや学びやすさを考慮して多種多様な史料を選択しているため、その読下文や翻刻文の印刷物は史料集として利用できるようなものではない。 ・鋳物民俗資料館では鋳物師や鋳造に関する史料、鍵屋資料館では交通や旅に関する史料など資料館の性格に応じた教材を選択して、それぞれの理解を深める講座となっており、統廃合の対象とはなり得ない。 		
スポーツ振興課	施設等運営	野外活動センター維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者から直営とした21年度以降、対応した課題について検証が必要。利用率向上のため、青少年健全育成機関として他市の教育部局への積極的働きかけ。 ・当事業はセンターの活性化、利用客の増加が何より根本にあって、維持・管理はその次の段階になる。よってセンターの利用客増加の工夫が第一で教育委員会との連携、さらには近隣自治体の学校へのPRにも力を入れていただきたい。天文観測の機能としても活用できる施設としても期待が高い。 	改善	教育キャンプ場として運営していくため指定管理者から協働型直営体制とし、野外活動センターと教育委員会、学校園との連携を強化して学校キャンプ支援を進める。また、センターの天体学習プログラムの充実を図り、センターの活性化に必要な維持管理に努める。	教育キャンプ場として協働型直営体制で運営を進め、学校キャンプの利用増を図ることにより、子どもたちの健全育成を図る。	二次点検・評価対象事業